

▶▶▶ 環境中間支援会議・北海道

豊かな自然環境や資源に恵まれた北海道は、「持続可能な社会」実現の可能性に満ちています。資源を次世代に引き継いでいくためには、私たち道民が北海道の持つ価値と可能性を再認識し、「持続可能な社会」実現を目指す取り組みを広げ、その質を高めていくことが不可欠です。私たち「環境中間支援会議・北海道」は、この地が、世界に誇れる「持続可能な社会」となるよう、道内の取り組みや必要な情報を収集、整理、発信していきます。さらに、それらを道内、国内はもとより、世界の人々と共有し、ともに行動できるよう、さまざまな主体による取り組みを支援します。



認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

〒064-0809
札幌市中央区南9条西3丁目1-6 彩木ビル2階
TEL.011-531-0482 / FAX.011-531-0483
<http://www.kitanet.org/>



札幌市環境プラザ Sapporo Eco Plaza 指定管理者:公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

〒060-0808
札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ公共4施設2階
TEL.011-728-1667 / FAX.011-728-1400
<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>



公益財団法人 北海道環境財団

〒060-0004
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階
TEL.011-218-7811 / FAX.011-218-7812
<http://www.heco-spc.or.jp/>



環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)

〒060-0042
札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル7階
TEL.011-596-0921 / FAX.011-596-0931
<http://www.epohok.jp/>



北海道の環境活動ポータルサイト
<http://enavi-hokkaido.net>

▶▶▶ 北海道大学大学院環境科学院

環境科学院は、複雑化する環境問題の解明と解決のために、重要かつ緊急の課題に取り組む研究者や高度専門職業人を養成し、既存学問領域を超えた協力を促進していくことを目的に設立された大学院であり、実践的な研究や教育活動を通して、人類が直面する地球環境の問題に多方面から取り組むことのできる環境リーダーの育成を行なっています。

これまで行ってきたIFES-GCOEプログラムの成果を活かして、持続可能な社会を担う人材育成を目指す、実践環境科学コースを2011年4月に設立しました。



北海道大学大学院 環境科学院実践環境科学コース (Practical Science for Environment)

〒060-0810
札幌市北区北10条西5丁目
TEL.011-706-2363
<http://practise.ees.hokudai.ac.jp/>

▶▶▶ 環境中間支援会議・北海道と 北海道大学環境科学院の連携について

人材育成を中心とした地域と大学をつなぐプラットフォームづくりを行なうため、2011年12月に、北海道大学大学院環境科学院と環境中間支援会議・北海道は、連携協定を締結しました。



編集後記

編集をしながら、読者第1号として、先人たちの足跡をたどり、現在の取り組みを知り、北海道の未来に思いを巡らしていました。今回、この『白書』に登場いただいたみなさんの活動分野は多岐にわたります。自分が「環境」という言葉から連想しないような分野からのお話もあり、EPO北海道着任1年目、視野が随分と広がり、たくさん勉強をさせていただきました。また、どの方のお話からも、改めて北海道の可能性を強く感じています。もちろん北海道は現在もさまざまな課題を抱えていますが、取材したお話の中にはそれを乗り越えていくヒントがたくさんありました。課題を乗り越えていく挑戦から広がる可能性が、未来を切り開いていくのだと感じています。(環境省北海道環境パートナーシップオフィス 倉 博子)